

# 運転こそ 最高の楽しみ!

© 2003 KONAMI

text:RMM/photo:羽田 洋(特記以外)  
取材協力:コナミ株式会社

鉄道模型は走らせてナンボ…とよく言われるが、デジQトレンもそれは同じこと。いや、鉄道模型を凌駕する高機能な自慢のデジQトレンの真髄は、運転した時にこそ最高に発揮されるのだ。しかも電動ポイントレールの発売で楽しみは倍増! オリジナル・レイアウトプランと共に、デジQトレンを運転する楽しみの一歩をお目にかけよう。

デジQトレンの機能を生かしたリアルな運転を、もっとコンパクトに楽しむことを主眼に、こんなレイアウトプランを考えてみた。一部が複雑になった小判形のエンドレスにリバーとヤードを加えたもの。右側の複線区間の両端には合流レールを使い、ポイント进行操作することなしにこの区間に入る列車は左側通行ですれ違うようになっている。これといった奇抜なところもない、ごく普通のプランだが、これだけの道具だけでとてもおおいに運転を楽しむのがデジQトレンの「いいところ」なのである。

左上のヤードを発車した列車はエンドレスを何周か回り、リバーを通って進行方向を変え、反対向きにエンドレスを何周かしてヤードに戻る。これがこのレイアウトの運転の「基本」だ。

では今度は2本の列車をこの基本パターンに沿って同時に走らせてみよう。車輛はお好みだが、ここでは国鉄時代の名車コンビ、485系ボンネットと583系も登場してもらおうことにしよう。

まず485系がヤードを出発。本線に出て時計回りにエンドレスを何周かした後、Aのポイントからリバーズ区間に入り、Bのポイントから再び本線に出て、今度は反時計回りにエンドレスを周回する。

次に583系がヤードから発車。485系の進行を阻害しないように(もちろん衝突したくないように!)上手にタイミングをみて運転しなければならない。485系はもし前方の本線上に583系がいる場合、A駅で停車して道幅が開くのを待つ必要がある。



写真の車輛は旧国鉄時代の車輛をモデルに製品化したものです。

▲複線区間で発車する485・583。デジQトレンの運転は、鉄道シンの心地よい緊張感までも再現してくる。

583系は複線区間を進み、Gの合流レールとAのポイントを通ってリバーズ区間に入る。この時583系がリバーズ区間に入り切る前にエンドレスを周回中の485系が接近してきた場合、485系をB駅で停車させて本線が空くのを待つ。

さて583系はリバーズ区間を進んで向きを変え、B駅で停車。ホームの反対側を485系が通過していく。遠ざかる485系と充分な距離をとって583系も発車。しばらくは楽しもうと反時計回りに2本の列車が走る光景を楽しもう。

このあいを見て順にヤードに列車を収容すれば1回の運転終了。これはあくまでも1つのターンで、最初に時計回りに2本の列車を周回させた後、B駅で折り返し運転したり(どちら方向にも可能)さまざまなパターンが考えられる。いずれの場合もタイミングのよい待避や「信号待ち」が必然的に起こり、2本の列車が演じる鉄道のドラマを味わえる。簡単なダイアグラムを作って運転するのも面白い。

鉄道模型でのこの運転をしようすると、往々にして電氣的に複雑になり操作も煩雑になりがちだ。デジQトレンではその点、列車の運転に集中できるもので単線区間での列車交換や追い抜きなど、魅力的な鉄道シーンを再現して心地よい緊張感を満喫できるのだ。

デジQトレンは運転に興味を持つすべてのファンにとって注目されるポテンシャルを持つ。これ本当の話。まずは簡単なレイアウトを組んで、運転を楽しんで道幅が開くのを待っていただきたい。



▲ヤードに停まった2本の列車。まずは485系ボンネットが発車。



▲エンドレスを周回する485系をかわりながら、583系も本線へ。

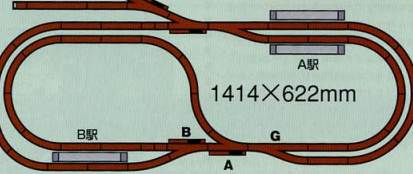


▲リバーズ区間に入る583系。本線を走らせた485系の通過を阻害しないようにタイミングをはかって運転しよう。



▲駅に停車中の583系のかわりを485系が駆け抜けて行く。そのあとを追って583系も発車!

## デジQトレンの運転をコンパクトに楽しむための オリジナル・レイアウトプラン



### 使用するレール

- ストレートレール132mm (品番R-001・4本入り) 15本 (※3本)
- ストレートレール198mm (品番R-002・4本入り) 2本 (※0本)
- ストレートレール44mm (品番R-007・6本入り) 4本
- ストレートレール66mm (品番R-008・4本入り) 1本
- カーブレールR176-45° (品番R-004・4本入り) 13本
- カーブレールR220-45° (品番R-005・4本入り) 6本
- カーブレールR264-30° (品番R-006・6本入り) 2本 (※0本)
- エンドレール タイプA (品番R-010・2本入り) 2本
- 合流レール198mm左 (品番R-070・2本入り) 2本 (※0本)
- 電動ポイントレールR176-45°右 (品番R-074) 1本
- 電動ポイントレールR264-30°左 (品番R-077) 1本
- 電動ポイントレールR264-30°右 (品番R-076) 2本
- 対向式ホームセット (品番A002) 1セット
- 扇式ホームセット (品番A001) 1セット

※対向式ホームセット・扇式ホームセットに含まれているレールを使用した際の必要数